

東名高速道路 宇利トンネル照明灯具落下事象 調査検討会

【第2回議事要旨】

■ 検討会として、調査結果により下記のとおり事実関係を確認した。

- ・取付脚と灯具本体の接合面は無塗装であった。なお、周囲はパテ仕上げが施されていた。
- ・取付脚のさびの層間にナトリウム、塩素、硫黄が検出された。
- ・落下した照明灯具は取付脚4箇所いずれも、取付脚と灯具本体との接合面において主に取付脚が減肉している。特に先端部側（取付脚の破断面に近い側）の腐食が著しく、破断箇所には金属部がほとんど見られなかった。

■ 調査結果から、下記のような討議を行った。

- ・腐食メカニズムなどに関して更なる検討が必要。
- ・腐食に関与すると考えられる他の物質も更なる調査が必要。
- ・今回の照明灯具と同種仕様の維持管理手法について対応方針、更新の考え方について検討する。